

各位

朝日生命保険相互会社

「サクセス A」の進捗報告(平成 17 年度上半期報告の見通し)

当社は平成 15 年度から新経営戦略「サクセス A」を推進し、お客様満足度と収益力の向上を通じ、「お客様に最も信頼される生命保険会社」となることを目指しております。「サクセス A」の本格展開 3 年目となる平成 17 年度においても着実にその成果が現れてきております。つきましては、その進捗状況、ならびに平成 17 年度上半期報告の見通しについて、以下の通り、ご報告させていただきます。

なお、先般(7 月 29 日)発表いたしましたとおり、平成 18 年 8 月に償還期限が到来する基金 500 億円について、償還期限を待たずに 10 月 3 日付で早期償還しましたことを、あわせてご報告いたします。

1. 保険業績の見通し

上半期の新契約年換算保険料(新契約+転換純増加)は、前年度上半期とほぼ同水準となる見込みです。また、解約・失効契約年換算保険料は、前年同期比約 8 割程度と、引き続き大幅に減少する見込みです。なお、上半期末の保有契約年換算保険料は、第三分野では引き続き前年度末から増加、全体では前年度末から若干の減少となる見込みです。

《サクセス A の進捗状況》

○お客様ニーズに応えた商品展開を継続的に推進

- 平成 17 年 4 月に「保険王」の医療保障パーツとして新発売しました「生活習慣病保険(返戻金なし型)」および「レディースパック」ともご好評を頂き、お蔭様で、当社主力商品である「保険王」の発売以来累計販売件数は平成 17 年 7 月で 150 万件を突破しました。
 - 平成 17 年 9 月には「生活習慣病保険(返戻金なし型)」のバージョンアップを図り、よりお客様のニーズにあった保障の提供を可能としました。
- また、同じく 9 月より「契約一部転換制度」の取扱いを開始し、現在のご契約の一部を残したまま、一部を「保険王」に転換し、最新の介護・医療保障をご準備いただけるようになりました。

※詳細は 8 月 25 日のプレスリリースをご参照ください。

○「さんくすコール」の全国展開開始

- 担当者による訪問サービスに加え、ご継続のお礼とご契約に対するご要望を承るための「さんくすコール」(当社からお客様へのコール)を 6 月 27 日から全国展開(保険王のご契約者を中心に全国 58 支社・約 45 万名のお客様が対象)いたしました。

○販売効率の向上

「サクセス A」開始以降、販売効率は着実に向上してきましたが、当上半期も営業職員一人当たりの新契約年換算保険料は前年度上半期と同水準となる見込みです。

○契約継続率の向上

お客様ニーズに基づいた的確な商品のご提案、コンサルティングセールス、定期訪問等、お客様サービスの充実により、ご契約の継続率は着実に向上しています。(上半期の 7 カ月目の継続率は 95%を上回る見込みです。また 13 月目継続率も 90%程度の水準となる見込みです。)

○営業職員の育成率の向上

営業職員の育成に注力した結果、新人営業職員の育成率も着実に向上しています。(上半期の 7 月目育成率は +2%程度、13 月目育成率は +8%程度、前年同期比で向上する見込みです。)

2. 健全性指標・基礎利益等の見通し

- ソルベンシー・マージン比率は 600%台前半の水準と、前年度末(570.3%)から向上する見込みです。
- 実質純資産額は、4,000 億円台前半の水準と、前年度末(3,845 億円)から向上する見込みです。
- 有価証券の含み益は、株式市場の回復もあり、株式で 600 億円台半ばの含み益、有価証券全体でも 600 億円台半ばの含み益となる見込みです。
- 基礎利益は前年度上半期より減少する見込みですが、以下のとおり、責任準備金の計上方法を一部変更することによるものであり、この影響を除外すると、前年度上半期より増益となる見込みです。

※責任準備金の計上方法の一部変更について

「こども保険」の教育資金(進学資金)は、2月1日にお支払いする仕組みになっていますが、当上半期より期間損益を適正に把握する観点から、お支払いのための責任準備金の取崩しを契約当日の属する月ではなく、下半期に一括して行うこととしました。

この変更による上半期の基礎利益への影響額は▲100 億円弱、逆に下半期の基礎利益への影響額は+100 億円弱となりますが、年間(1事業年度)の基礎利益への影響は全くありません。

- 当上半期より適用する固定資産減損会計による特別損失は約 300 億円前後となる見込みです。

以 上